

平成 30 年度 事業計画

社会福祉法人あけぼの事業福祉会

設立認可 : 昭和 52 年 1 月 6 日 (厚生省収児第 8 号)

所在地 : 豊中市長興寺南 2 丁目 8 番 16 号

代表者 : 理事長 安家 周一

法人概要

【法人の沿革】

| | |
|----------|---|
| 1977年4月 | 『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』創設 理事長 安家茂美 「豊中あけぼの保育園」長興寺南に開園 (S52.3.31認可) 園長 安家茂美 |
| 1987年4月 | 「あけぼのベビーセンター」上野西に開園 (S62.3.26認可) 園長 安家周子 |
| 1988年12月 | 『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』 理事長 安家周子就任 |
| 2000年6月 | 豊中あけぼの保育園分園「あけぼのぶんぶん」曾根東町に開園 園長 安家周子 |
| 2001年4月 | 「あけぼのぶんぶん」小規模保育園へ認可変更 (H13.3.30認可) |
| 2002年4月 | 「あけぼのドロップス」上新田に開園 (H14.3.29認可) 園長 安家尚子 |
| 2005年3月 | 『社会福祉法人あけぼの事業福祉会』 理事長 安家周一就任 |
| 2005年4月 | 「あけぼのぼんぼこ保育園」西緑丘に開園 (H17.3.31認可) 園長 安家比呂志 |
| 2012年3月 | 「豊中あけぼの保育園」城山町に移転 |
| 2015年2月 | 「あけぼのぶんぶん」長興寺南に移転 |

【保育の方針】

保育理念：保育する上での根本的な考え

「今しかできないこと、今だからできること しっかり看つめること ギュッとハグすること
自分の興味を満喫させて遊ぶこと 思いっきりカラダを動かすこと
大人みんなで精一杯愛すること 大人も育つこと 私たちはこんな保育園を目指します」

保育目標：保育の具体的な目標

「すべての生活から健全な心身を育てる すべての生活からよく考える力を育てる
すべての生活から愛情と自立心を育てる」

モットー：こどものあるべき姿 「よくみる よくきく よくする」

スタッフポリシー：保育者としての原則

- ①こどもの安全が最優先されているか
- ②日々の生活が大切にされプログラムがこども側の論理に立っているか
- ③保護者に対して共感的態度で接しているか
- ④自分が人間として自立しているか
- ⑤自分が保育者として向上心があるか
- ⑥日々適切に報告、連絡、相談（ホウ、レン、ソウ）ができているか
- ⑦「もったいない」を大切にしよう
- ⑧自分を大切に、周りの人を大切にする（No2の役割とチームワーク）

【施設の概要】

豊中あけぼの保育園 施設長：安家 尚子
 所在地：〒561-0803 豊中市城山町1丁目2番25号
 連絡先：TEL/06-6863-7050 FAX/06-6863-1260
 E-mail/toyonaka_akebono@akebono.ed.jp

あけぼの風の森保育園 施設長：越智 有貴子
 所在地：〒560-0011 豊中市上野西4丁目5番62号
 連絡先：TEL/06-6857-2003 FAX/06-6857-2-86
 E-mail/akebono_kazenomori@akebono.ed.jp

あけぼのぶんぶん 施設長：小寺山 里美
 所在地：〒561-0874 豊中市長興寺南2丁目8番16号
 連絡先：TEL/06-6867-0711 FAX/06-6867-0712
 E-mail/akebono_bunbun@akebono.ed.jp

あけぼのドロップス 施設長：藤田 勲
 所在地：〒560-0085 豊中市上新田4丁目18番3号
 連絡先：TEL/06-6155-1101 FAX/06-6155-1102
 E-mail/akebono_drops@akebono.ed.jp

あけぼのぼんぽこ保育園 施設長：安家 比呂志
 所在地：〒560-0005 豊中市西緑丘2丁目4番1号
 連絡先：TEL/06-6857-0003 FAX/06-6857-0066
 E-mail/akebono_ponpoko@akebono.ed.jp



| 施設名 | | 豊中あけぼの | 風の森 | ぶんぶん | ドロップス | ぼんぽこ |
|---------------|------|-------------------|----------------------|--------------------|--------------------|----------------------|
| 定員 | 0歳 | 9 | 9 | 9 | 6 | 18 |
| | 1歳 | 10 | 25 | 18 | 10 | 20 |
| | 2歳 | 15 | 26 | 18 | 11 | 24 |
| | 3歳 | 15 | - | - | 11 | 29 |
| | 4歳 | 15 | - | - | 11 | 29 |
| | 5歳 | 16 | - | - | 11 | 30 |
| | 合計 | 80名 | 60名 | 45名 | 60名 | 150名 |
| 職員数 (内正職外) | 施設長 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| | 保育士 | 22(9) | 15(2) | 20(7) | 21(8) | 29(7) |
| | 調理員 | 3(1) | 1 | 3(1) | - | 6(3) |
| | 看護師 | 1 | 2(2) | - | 1(1) | 1(1) |
| | 事務員 | 1(1) | - | 1 | 1 | 1 |
| 嘱託医 | 内科 | 西村亮 | 吉田悟 | 西村亮 | 地寄剛史 | 間敦子 |
| | 歯科 | 河上計人・美南子 | 亀井正明 | 河上計人・美南子 | 尾上晃代 | 山崎善久 |
| | 眼科 | 岡崎俊夫 | - | - | 山口哲男 | 三木耕一郎 |
| | 耳鼻科 | 上川保廣 | - | - | 上川保廣 | 平野雅彦 |
| 第三者委員 | | 小井優美子 中下浦洋子 | 笹部広美 安威道子 | 小井優美子 中下浦洋子 | 濱田勝治 松尾淳子 | 青山節美 林あつこ |
| | 敷地 | 全体 園庭 | 1040.27㎡ 251㎡ | 880.54㎡ 551.55㎡ | 416.03㎡ 137.68㎡ | 697.46㎡ 257.49㎡ |
| 建物 | 構造 | 鉄筋コンクリート・ 木造2F | 鉄筋コンクリート造 3F/木造1F | 鉄骨造3F | 鉄筋コンクリート造 3F | 鉄筋コンクリート造 2F/木造1F |
| | 延床面積 | 551.00㎡ | 632.09㎡ | 499.00㎡ | 490.97㎡ | 1032.70㎡ |

法人計画

近年顕著であるが、保育士や調理担当の人材を確保することが困難となっている。年度の早い時期から採用のアクションを起こすものの、年度終盤に予定外の退職申し出などもあり、補充が難しい状況にある。

また、採用試験の成績が下位の者を人数確保のために無理に採用した場合など、結果的に施設内で人的不調和が起る場合も多く、施設のチームワークを保つのに苦勞する事態が起こっている。もとより労働集約型の事業であるため、人に頼らざるを得ないわけで、環境や人間関係など重点的に充実させるよう、各施設とも取り組む。働きやすい職場作りと、同僚性を大切に、メンター制度を有効に活用するなど、人間関係調和を中心にした運営を目指す。

■本部

ドロップス建設の際、本部よりの貸し付けを、2017年度で全額返済を完了した。昨年度に引き続き理事長からの寄付などで、わずかながらではあるが資金的に安定している。法令順守などを大切に堅実運営を心がける。

■豊中あけぼの保育園

個人的な事情で主任が1年で交代すること、また新たに法人内の移動や新規採用などメンバーも変化する。安定した運営ができるよう努力が必要である。

■あけぼの風の森保育園

昨年度末であけぼのベビーセンターの増改築工事が終了し、新たなる1歩を踏み出す年度となる。近隣との関係で、5歳児までの年齢伸長は難しいが、補助事業として増築したこともあり市当局から0～2歳児で45人から60人定員の施設運営を要求される。各年次増のため、今後年次進行などで不都合が起こる可能性もあるものの、当分の間受け入れることにした。名称を「あけぼの風の森保育園」と改称する。今後近隣住民の理解を促し、愛される施設となるよう引き続き努力する。

■あけぼのぶんぶん

引き続き0～2歳児施設としての運営。あけぼの幼稚園と連携施設の関係もあり、入所希望も活発。保護者の意識も高くよい雰囲気は保たれている。他施設に比べ行事などが少ないぶん、保育の充実に力を注ぐ。

■あけぼのドロップス

昨年度施設長が変更となり、積極的に人間関係や保育内容の建て直しを行った結果、職員の意識も高まり、安定した運営が維持できた。今年度もこの調子で推移するよう努力を傾注する。

■あけぼのぼんぼこ保育園

新年度0歳児クラスで欠員が目立つ。2次選考で、充足できるかどうかは不明だが、全体的な年間収入に直結することから注意が必要。

各施設計画

【豊中あけぼの保育園】

1. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- *主任が交代となり、現場の運営に協力体制が不可欠である事を受け、処遇Ⅱで役付けられた中堅リーダーが役割分担で責任を果たすことにより、スムーズな運営へと繋げたい。
- *昨年までの「公開観察会」で学び合ってきた内容を、乳児部門リーダー・幼児部門リーダーが中心となり、部門別園内研修へ繋げていき「保育の質」を高めていく。
- *前年度に広がった園庭の柵の工事・フリースペース作り等を含め、園庭環境の充実を図り、併せて運動能力を高めるための具体的内容を保育の中に位置づけていく。
- *平成31年4月移行の「認定こども園」にむけ、具体的準備を進める。

2. 目標・計画の具体的な項目と取組方法

| 項目 | 取組方法 |
|------------|--|
| 保育内容 | <ul style="list-style-type: none"> *複数担当クラス保育者の良好なコミュニケーションを基本におき、園児の人権擁護・職員の人権擁護の観点を意識し、温かいクラス運営のための努力を行う。 *保育指針の改定を受け、乳児保育で大切に育てたい「愛着」についてビデオの活用で学び合う。 *2クール（6年間）行ってきた縦割り保育の検証を基に、ファミリーのカリキュラムの見直しと、年中児の育ちの観察を意識して行っていく。 *1泊2日に移行のちびキャンのプログラム充実を図る。 |
| 食に関する事項 | <ul style="list-style-type: none"> *栄養士から保育者に向け、基礎栄養量の指導や様々な食の知識を情報提供してもらい、食と保育の連携により質の高い保育へ繋げる。 *栽培や季節の食材のクッキングについての打ち合わせを密に行う。 |
| 保護者との連携・支援 | <ul style="list-style-type: none"> *保育参加の完全実施を目標に、家庭と園の共通理解を深める。 *気になる子どもの保護者と個人懇談を積極的に行う。 *夕方の延長保育の対応と対策。 |
| 職員関係 | <ul style="list-style-type: none"> *全職員で行った「振り返りシート」から上がってきた案件に基づき、業務の見直しを具体化させていく。 *同僚性をキーワードに職員間のコミュニケーションを再度見直していく。 *新任職員が働きやすい環境をメンター制度の活用と共に全職員が意識していく。 *前年度の職員体制から人数が大幅に減るので、そのことを一人ひとりが意識して、基本を押さえながら「大切にすること、省略すること」を明確にし、負担感だけが先行しないよう日々の業務にあたる。 *キャリアパス研修の効率的実施 |
| 地域支援・関わり | <ul style="list-style-type: none"> *外部柵の工事に伴う、近隣対応を丁寧に行う。 *子育て支援・BPプログラムの計画的実施。 *高齢者施設・図書館との連携 |

3. その他特記事項

【あけぼの風の森保育園】

1. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- *増築・改修工事が3月末に完成し、新年度から定員増員となる。新入児が多い中でも、子どもと保護者が安心かつ安全に日常の園生活が送れるよう計画を立て取り組んでいく。
- *園が地域と「共生」していけるよう努力し、地域交流の場を設けていく。

2. 目標・計画の具体的な項目と取組方法

| 項目 | 取組方法 |
|-------------|---|
| 保育内容の見直し | *在園の半数以上が新入児となる為、個々が集団に慣れるまでの間は混乱が予想される。担当制保育をいかし、保育の組み立てや環境面での検討を職員と共に考え、個々が安心・安定した生活を送る事ができるよう取り組む。 |
| 環境の充実を図る | *居心地の良い新しい園舎を十分にいかせる保育環境を整える。 *物的環境を整えるのと同時に、子どもが興味関心をもち、遊びが発展していける関わりを充実させる。 |
| 保護者との連携・支援 | *初めて保育園に預ける保護者が多数の為、親子共々が一日も早く安心して保育園生活が送れるよう、保護者との日々のやりとりを大切に信頼関係を深めていく。 *近隣との協定書を保護者に守ってもらえるよう進行状況を随時お伝えしてご理解とご協力をいただく。 |
| 職員のメンタルケア対策 | *役職のチーフが転勤・退職で全員交代となる為、新チーフと基本保育の確認を行い、意識統一する機会を随時設ける。 *日々の保育で精神的余裕がもてず、学びや研修に対して意欲を抱けない若いスタッフのケアと育成を目指す。 *メンター制度が定着する中、新人職員の不安を解消し育成を行う。 |
| 地域との関わり | *改修後、地域支援活動ができる保育室を確保できたことから、BP「赤ちゃんプログラム」や世代交流ができる企画を積極的に取り入れ、地域交流を目指す。 *地域代表者の方々との協議会だけでなく、日頃から運営に対してご意見や苦情をお伺いできる関係性に近づけるよう努力していきたい。 |

3. その他特記事項

【あけぼのぶんぶん】

1. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- *乳児期の発達に沿った保育がより丁寧に行われるために、月齢保育の展開を図る。
- *職務リーダーの意識向上により、園全体の質の向上に努める。

2. 目標・計画の具体的な項目と取組方法

| 項目 | 取組方法 |
|-------------|---|
| 保育内容の見直しと構築 | *歳児というクラス構成ではなく、月齢による保育を行うことで一層丁寧な保育となり、それによる育ちの添った人的環境・物的環境を考え豊かな生活が送れるようにする。 |
| 保育者の質の向上 | *乳児保育の充実と質の向上が位置付けられたことの重要性を保育者一人ひとりがしっかりと意識し学ぶ姿勢を持つ。 *子どもの姿を見取り保育を語る上では、様々な手法を活かしそれを元に打ち合わせや園内研修で保育を深めていく。 |
| 子育て支援 | *知識や技術の専門性を活かし相談窓口としてアドバイスを行い子どもの育ちを家庭と連携し支援する役割を担う。 *地域の方が利用できるホールの開放の内容を再構築し、幅広く利用できるようにしていく |
| チームワークと人材育成 | *職務リーダーは自身の役割の向上に努め、園全体が良い方向に導くように責務を果たす。 *保育士・栄養士・看護師すべての職員が同僚性を高め、お互いを尊重し合い同じ方向性を持つことで、保育の充実感が得られメンタル面も強化していく。 |

3. その他特記事項

- *園庭整備として雨水タンクの改修

【あけぼのドロップス】

1. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- *同僚性の向上、チーム保育の充実。
- *保育環境の見直しと充実。
- *地域との関わり、連携。

2. 目標・計画の具体的な項目と取組方法

| 項目 | 取組方法 |
|-------------|--|
| 同僚性の向上、人材育成 | *園内研修の内容の充実。(自分の考えや保育観を語る研修。技術に特化したものだけでなく一緒に働く上での同僚性の向上、チームとしての土台作りに繋がるもの) |
| 保育面 | *乳児期、幼児期のこどもの成長過程の理解と取り組みの共有。 (経験年数やその年の担当の思いで左右されることのない保育の取り組みとなる基盤作り) *今まで取り組んできた異年齢児保育の実績と課題の共有と振り返りを行うと共に目安としたい計画を作成する。 *支援保育。個々の発達や課題を理解した上で定期的な会議を設ける。関係機関と連携し具体的な計画の基、みまもりの体制を整えていく。 |
| 保育環境の見直し | *各保育室の環境の考察、見直しを定期的に行い、エカーズの視点を参考にしながら環境を整備していく。 *昨年度園庭を整備したが、より能動的に子ども達が遊びを展開し多くの発見に出会えるような環境を考慮する。 |
| 地域との連携 | *地域の中のお店や、イベントなどへ積極的に参加する中で地域との関わりを設け双方の理解に繋げたり、子ども達の日頃のごっこ遊びの質の向上や生活観や社会性の育ちに繋げていく。 |
| 職員処遇 | *職員間で連携、協力体制をとりノンコンタクトタイムの確保とクラスミーティングの時間を確保する。 |

3. その他特記事項

- *2018年度より、厨房の業務委託を開始する。(ハートフードクリエイツ株式会社)

【あけぼのぼんぼこ保育園】

1. 本年度重点的に取り組む目標・計画

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> *職員間の共同・共感・協力を基本にチームワークを構築する *職員があけぼのの保育の考え方や取り組みをしっかりと理解し、それぞれの役割に合わせて保育の質の向上や保育観の統一を図る。(専門リーダー・職務分別リーダーの役割の遂行) |
|---|

2. 目標・計画の具体的な項目と取組方法

| 項目 | 取組方法 |
|-----------------------|---|
| 保育内容 | <ul style="list-style-type: none"> *乳児クラスはコダーイ研修の学びから、育児担当制・環境による主体的な保育の促進を図る。 *幼児クラスは縦割りで生活する事をベースとし、保育のねらいやカリキュラムの振り返りを行い、ひとりひとりが主体的に生活する事が出来るように努める。 *子どもが主体的に取り組む事が出来る行事となるよう、取り組み方や行事の構成等の見直しを行う。 |
| チームワークと人材育成 | <ul style="list-style-type: none"> *コダーイ研修の学びの共有と乳児保育へのフィードバックを行う *講義型の園内研修ではなく、全員参加型の園内研修を実施し、職員ひとりひとりの保育観の共有や意識統一を図り保育の質の向上へと繋げる *メンター・メンティー制度の促進と充実(2年目へのサポート制度も実施) *職員間の連携の強化 *処遇改善Ⅱの各リーダーの役割の遂行 |
| 保護者との連携・支援 | <ul style="list-style-type: none"> *特別支援児の保護者とは、定期的な面談を行い、支援内容や計画の共有を行う。(H30年度も特別支援在籍の子どもが多くいる為) *懇談会・全体会等を通して、園の保育方針やあけぼのとして大切にしているもの、保育の意図について共有し、相互理解を図る *保育参加を実施の期間を変更し、園生活を実際に見て知って頂く機会を設ける。 |
| 地域支援・関わり 社会貢献・地域貢献 | <ul style="list-style-type: none"> *社会福祉施設(保育園)としての社会貢献 *スマイルサポーター在中の保育園として、地域へ開かれた形で相談窓口や仲介窓口になるように努める。 *民生委員と共に地域の0・1歳児親子対象の『ひよこちゃん少路』や、地域の2・3歳児対象の『ぼんぼこ広場』を毎月開催する。 *毎月アクティブライフ豊中(老人ホームが型施設)へ年長児が訪問し世代間交流を行う。イレブンフェスタへの参加、近隣保育園との交流等、地域との繋がりの促進を図る。 |
| 安全管理、危機管理 | <ul style="list-style-type: none"> *避難訓練・防犯訓練を行い、職員会議を通して危機管理の向上に努める。 *リスクマネジメント会議を毎月開催し、ヒヤリ・ハットの集計や対策を練り、職員会議にてフィードバックを行う。 |

3. その他特記事項

- *園庭にスポットライトを設置
- *トイレ(便器)の改修 → 3か年計画で行う。
- *乳児棟、幼児棟間の雨漏りの改修
- *すのこの改修